

事務事業名	三刀屋健康福祉センター管理事業	所属部	三刀屋総合センター	所属課	保健福祉課
政策名	Ⅲ 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	健康福祉グループ	課長名	嘉本 史紀
施策名	〈21〉地域福祉の充実	担当者名	足立 澄子	電話番号 (内線)	0854-45-9501 4307
基本事業名	〈061〉福祉活動の実践と連携	予算科目	会計 款 項 目 011 115 015 110 113	三刀屋健康福祉センター管理事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	指定管理により三刀屋健康福祉センターの施設管理を行っている。 ①施設及び設備の使用許可に関する業務 ②使用料の徴収、減免及び還付に関する業務 ③施設等の維持管理に関する業務 市民の地域福祉、健康づくりの拠点施設として利用している。	旧三刀屋町では平成8年に健康、福祉の拠点施設として整備され、雲南市に引継いだ。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	指定管理料 20,039千円 施設修繕費 355千円	事業費	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	年間を通し、必要に応じて指定管理者と施設管理についての協議を行っている。	人件費	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円	1 71 271	1 71 276	1 81 319	1 71 0	1 71 0	1 71 0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	20,310	20,315	20,713	20,031	20,031	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 23年度と同様	⑤ 活動指標							
		ア 指定管理料	円	20,039	20,039	20,039	20,031	20,031	
		イ 監督指導回数	回	4	4	4	4	4	
		ウ 使用許可件数	件	1913	1932	1906	2000	2000	
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	施設利用者	⑥ 対象指標							
		ア 施設利用者数	人	34,072	34,437	35,902	36,000	36,000	
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	利用者が利用しやすい施設の環境づくり(利用者に地域福祉活動や健康増進を図れる安心安全な場所の提供を図る)	ア 苦情件数	件	0	0	0	0	0	
		イ 施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0	0	
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	ア 福祉ボランティア活動者数	%	21.3	23	23.4	23	24	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
利用対象者に変更はない。 平成18年度から指定管理を行っており、適切に管理されている。	電気料等の経費削減を行った。	経年劣化による施設、設備の修繕箇所が増えてきているので、壊れた際にすぐ対応してほしい要望あり。

事務事業名	三刀屋健康福祉センター管理事業	所属部	三刀屋総合センター	所属課	保健福祉課
-------	-----------------	-----	-----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 健康福祉センターの適正な維持管理は、地域の健康づくりの拠点施設としての充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 公共施設の適正な維持管理は市の義務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 健康福祉センター施設の維持管理を行い、施設利用者の利便を図る事業であり妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 施設の指定管理は平成18年度からであり、当面管理経費の動向を見ながら、検討が必要となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 三刀屋健康福祉センターには、子育て支援センター、デイサービス、介護事業所、温水プール等福祉及び健康づくりに市民に利用されている施設であり、廃止・休止は市民サービスの低下を招く。指定管理制度を止めると市直営の管理業務が生じる事になる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市が管理する施設の維持管理であり、現状では他の手段は考えられない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 健康福祉センターは建設から15年が経過し、修繕等の経費の増加が予想される。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 施設の老朽化に伴い、それに対応する業務の増が予想される。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 適正な指定管理料、使用料の見直しを検討する。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な管理ができた。 (建設後、15年経過し修繕が必要な箇所が増えてきている。)																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																							